平成２６年度社会福祉法人南但愛育会事業報告書

１　法人の理念の推進

（１）利用者の意向を尊重し利用者が尊厳を保ち健やかに育成されるよう支援する。

（２）利用者が能力に応じ自立した生活ができるよう支援する。

（３）サービスの質と経営の透明性を高め経営基盤を強化する。

（４）地域住民及び福祉関係者と協力し地域福祉を推進する。

２　子育ての理念の推進

（１）私たちは、こどもの権利を保障します。

（２）私たちは、こどもの成長・発達を支援します。

（３）私たちは、こどもの自立を支援します。

（４）私たちは、地域の子育てを支援します。

３　理事会

５月　７日　理事６名、次期役員の予選

５月１０日　理事６名、理事長の互選

５月２６日　理事６名、監事２名、事業報告・決算報告、監査報告、共同募金受配申請

１０月　２日　理事６名、定款変更、第１次補正予算、施設整備計画、苦情解決規程

３月１９日　理事６名、社会福祉法人等指導監査結果、定款変更、第２次補正予算、２７年度事業計画・予算、就業規則・給与規程改正、経理規程、報告事項

４　監査

５月２０日監事監査　　監事２名、理事長、施設長２名、職員２名

９月３０日行政指導監査　但馬県民局３名、理事長、施設長、事務員、児童指導員

１月１６日社会福祉法人等指導監査　県福祉課基盤推進班２人、理事長、理事、職員

５　主要事務

４月　職員採用４人、職員異動２人、辞令、労働契約書、労働条件通知書、３６協定、２４協定、事業報告、決算報告

５月　基本財産処分承認申請、事業報告、決算報告、社会福祉法人変更登記申請

６月　社会福祉法人現況報告

７月　社会福祉法人・社会福祉施設の監査に係るチェックリスト

８月　県議会健康福祉常任委員会１５人、県職員８人による睦の家概要等調査

９月　第１次補正予算

１０月　定款変更認可申請、児童養護施設指導監査結果に係る改善措置

１１月　第三者評価受審

１２月　経理規程、第２次補正予算

１月　社会福祉法人等指導監査、就業規則・給与規程、経理規程、第２次補正予算

２月　事業計画、当初予算、経理規程、給与規程、第２次補正予算

３月　事業計画、当初予算、経理規程、給与規程、社会福祉法人等指導監査結果に係る改善措置、定款変更認可申請、３６協定

6　日常業務

児童処遇管理、安全管理、人事管理、労務管理、財務管理、資産管理、対外折衝

7　県・市補助金

リボン運営費県補助金	9,263,000 円
処遇向上事業補助金	95,400 円
共同募金会	200,000 円
合計	9,558,400 円

8　助成金

雇用開発助成金	615,640 円
是川財団	99,688 円
全社協	240,000 円
合計	955,328 円

9　寄付受入

本部	1 件	200,000 円
若草寮	37 件	330,372 円
睦の家	49 件	336,300 円
合計	87 件	866,672 円

平成２６年度児童養護施設若草寮事業報告書

〔事業運営の基本〕

1　法人理念の実現を目指すと共に、ユニット化と高機能化に向けて適切な諸計画の策定と実行に努めました。事業計画については、社会的養護の推進とソーシャルペタゴギーに基づく子どもの権利擁護と自己実現、地域支援の視点から、施設職員が策定に参加し、現状と課題、具体的取り組みについて検討を図りました。

（１）理念

①　利用者の意向を尊重し利用者が尊厳を保ち健やかに育成されるよう支援する。

②　利用者が能力に応じ自立した生活ができるよう支援する。

③　サービスの質と経営の透明性を高め経営基盤を強化する。

④　地域住民及び福祉関係者と協力し地域福祉を推進する。

（２）施設の処遇理念

①　私たちは子どもの権利を保障します。

②　私たちは子どもの成長・発達を支援します。

③　私たちは子どもの自立を支援します。

④　私たちは地域の子育てを支援します。

（３）処遇の基本方針

規則正しく心地よい生活と信頼関係を基盤として､児童のひとりひとりが護られ､安心、安全で健やかに生活できる環境を整え、児童の自主性を尊重しながら生活スキルの獲得と豊かな人間性及び社会性の養成をはかると共に学校、こども家庭センターその他の関係機関と連携し、個性、能力及び発達段階に応じた指導と援助を行い、児童の福祉を高め健やかな成長を促し、その自立と家族再統合を支援する。

〔処遇実績〕

1　各月初日在籍児童数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
年　少　児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
小　学　生	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
中　学　生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
高　校　生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
そ　の　他	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348

2　月別入退所児童数

区分＼月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
入所	幼　　児														0
	小　学　生														
	中　学　生														
	高　校　生														
	そ　の　他														
退所	幼　　児														4
	小　学　生														
	中　学　生												1	1	
	高　校　生												2	2	
	そ　の　他												1	1	

3　一時保護・ショートステイ延人数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	30	52	120	31	31	32	34	30	31	31	28	51	501
ショート	1	1	1	13	6	2	2		1		1		28

4　生活時間のめやす

平　日		休　日		備　考
起　床	6:30	起　床	6:30～ 7:00	おおむね適応
朝　食	6:10～ 7:30	朝　食	6:50～ 8:00	〃
登　校	6:30～ 8:20	学　習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼　食	12:00～14:00	昼　食	12:00～13:00	〃
下　校	14:00～19:00			
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部児童は時間外
学　習	15:30～	学　習	15:30～	おおむね適応
入　浴	16:00～21:00	入　浴	16:00～21:00	一部児童は時間外
夕　食	17:30～19:10	夕　食	17:30～19:10	〃
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応
自主学習	21:00～24:00	自主学習	21:00～24:00	〃

5　児童集団行事

	行事名	場所	参加児童職員
4 月　2 日	花見　豊岡寿司店招待	ヒメハナ公園　なか井	児童 24 職員 6
4 月 27 日	カブトムシ探検隊	但馬長寿の郷	児童 17 職員 4
5 月　3 日	野外バーベキュー	磯部グラウンド	児童 18 職員 7
5 月 10 日	こいのぼりの集い	明石公園	児童 25 職員 13
5 月 24 日	出石そば打ち体験招待	出石町大門	児童 20 職員 6
6 月　2 日	サッカー大会	神戸レディース FBC	児童 10 職員 2
6 月 21 日	シーカヤック招待	竹野切浜海岸	児童 14 職員 4
7 月 18 日	ジャガイモ掘り招待	養父市米田様方	児童 12 職員 3
7 月 22 日	海水浴	小天橋海水浴場	児童 8 職員 3
7 月 23 日	海水浴	小天橋海水浴場	児童 10 職員 4
7 月 26 日	山東ライオンズ招待行事	山東自然の家	児童 24 職員 11
7 月 27 日	カブトムシ探検隊	但馬長寿の郷	児童 14 職員 6
7 月 28 日	海水浴	小天橋海水浴場	児童 9 職員 4
8 月　1 日	神楽地区夏まつり	神楽小学校	児童 9 職員 2
8 月　5 日	納涼会・わかくさ祭り	若草寮庭	若草 50、教諭他 20
9 月 24 日	木下大サーカス招待	神戸北イオン	児童 13 職員 4
10 月 18 日	枝豆、栗の収穫体験	山東町末歳	児童 16 職員 3
9 月 28 日	サッカースクール招待	住友総合グラウンド	児童 6 職員 2
10 月 12 日	竹田秋祭り	和田山町竹田地区	児童 13 職員 4
10 月 17 日	交通安全教室	若草寮	児童 20 職員 4
11 月　3 日	芋煮会	養父市石堂	児童 20 職員 14
11 月 17 日	七五三参り	粟鹿神社	児童 1 職員 1

12 月　7 日	みんなの文化祭	明石西部市民会館	児童 28 職員 12
12 月 23 日	クリスマス会	若草寮	児童職員全員他 30
1 月　1 日	初詣	粟鹿神社他	児童 5 職員 2
2 月　7 日	養連ドッジボール大会	洲本市文化体育館	児童 15 職員 4
2 月 28 日	スキー体験	神鍋高原	児童 5 職員 2
3 月　7 日	養連マラソン大会	播磨中央公園	児童 21 職員 9
3 月 14 日	おもちゃ王国招待行事	東条湖	児童 16 職員 7
3 月 14 日	高卒退所児童送別会	若草寮	児童職員全員
3 月 21-22 日	甲南大学春合宿	自然学校　若草寮	児童職員全員
3 月 26 日	幼児　春の遠足	丹波いちご農園	児童 3　職員 3
3 月 26-27 日	春の旅行	福井、石川方面	児童 23 職員 12

6　処遇計画の策定と実施

（1）自立支援

個別児童について、こども家庭センターの処遇指針、児童、保護者、学校、施設の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。

（2）特別指導

１２人の年長児童等について、スポーツや創作活動等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

（3）個別対応

個別対応が必要とされる児童に生活場面や創作活動での１対１の対応や個別面接を行い、適切な支援に努めました。

（4）心理療法

１７人の対象児童に心理療法を行い、情緒の安定、達成感や自信の獲得、愛着関係の再構築、対人スキル向上を図ると共に適切な支援に努めました。

（5）家庭支援

家庭支援を要する児童とその家庭を対象に相談・指導等を行い、親子関係の再構築や家庭復帰に向けた支援に努めました。

（6）里親支援

里親、ファミリーホーム支援の拠点的機能を備えるため、こども家庭センター、里親会との連携に努めました。また、里親支援にあたり、児童家庭センターリボンや睦の家、里親支援員を配置する他施設、神戸家庭養護促進協会等との連携を図りながら、里親の開拓、里親委託推進をすすめるとともに里親からの相談を受ける体制を整えました。

（7）児童との懇談会

児童の意見や要望を取り入れ、行事計画を立て、児童の自主的、主体的な活動の機会を増やしました。

（8）施設機能強化推進事業計画を立て、自立促進、地域交流、家庭生活体験、防災対策を進めました。

（9）処遇結果の概要

①　幼児は、日常生活に適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができましたが、精神的に不安定で要望の多い保護者対応で苦慮する状況がありこども家庭センターとの連携を図り、保護者との信頼関係の構築を図りつつ適切な対応に努めました。

② 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができましたが、学習の遅れている児童も多く、特別支援学級入級や施設での学習指導のあり方を検討し、適切な学習指導や学習環境の提供に努めました。
また、自閉症やＡＤＨＤ他、発達障害が疑われる児童については医療機関や専門機関と連携し、支援体制の強化に努めました。

③ 中学生は交遊関係や登下校の問題が多く、違法行為や警察の補導もあり、学校から施設に毎日送迎の依頼がある児童がおり、指導に苦慮しましたが、家族への協力要請をし、学校、こども家庭センターと連携し対応しました。また、特別支援学級において不適応を起こし、担当教諭の指導を聞かず、学校で器物破損や徘徊等を繰り返す児童がおり、学校と十分な連携をとり、医療機関を受診する事により、精神状態の安定を図るよう支援に努めました。自動車と衝突する大事故にあい、左大たい骨骨折をした児童については、豊岡病院に緊急搬送され、2回の手術を受け、計70日の入院をすることとなり、約６ヶ月間にわたる治療のため職員が病院へ付き添いました。また、こども家庭センターや県児童課への報告、警察等への対応、事故加害者との折衝等を行い、事故の解決が適切かつ速やかに図られるよう対処しました。ただ、施設から親権者とは接触が持てない状況にあり、こども家庭センターを通して、事故の状況を伝えましたが、十分な説明はなされていない状況です。現在は、後遺症は、ほとんどなく、通常の生活を送ることができるようになりました。

中学校卒業児童３人は、１人は公立高校、１人は特別支援学校高等部へ進学し、１人は、家庭復帰することができました。

④ 高校生については、おおむね施設、学校に適応し、落ち着いて生活を送ることができました。3年生１人は４月より、私立高校通信制へ編入学しましたが、無事に卒業し、就職。卒業後は家庭より、通勤しています。もう１人の３年生も卒業後、就職自立する事ができました。

自立支援を要するため措置延長となった２人のうち１人は自動車整備の専門学校に通い、卒業後の就職の内定を決め、措置解除になりました。もう１人は施設から職場に通勤し、自立へ向け準備を進めていますが、就労状況不良のため、離職の可能性もありました。職場との話し合いにより、就労を継続することができました。現在は、職場環境にも慣れ、精勤しています。

⑤ 中卒進学児童３人（県立但馬農業高校2）（和田山特別支援学校）

⑥ 高卒就職児童２人（株式会社ワークステーション）
（特別養護老人ホームグリーンビラ妙見）

⑦ その他就職内定児童（大阪トヨタ自動車株式会社）

⑧ 問題行動があった児童６人、（無断外出４人、無断外泊２人、喫煙飲酒３人、暴力１人重複）

⑨ 特別な支援の必要な児童１５人（知的発達遅れ１２人、情緒・軽度発達障害８人重複）

⑩ 継続的に通院が必要な児童１２人（アレルギー、ぜんそく、弱視、中耳炎、皮膚疾患てんかん、夜尿、精神的不安定）
他通院児童３０人、延３８６人、入院児童２人、延７５日

⑪ 予防接種　インフルエンザ　２０人、麻しん風疹２人、水痘２人
健康診断　春・秋２９名

⑫ 里子委託　7月12日～13日　里子4里親3　　8月13日～18日　里子6里親3
11月 22日～24日　里子4里親2　　12月26日～ 4日　里子6里親4

〔運営管理〕

1　人事・労務

①　職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	心理士	事務員	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	14	1	1	2	1	4	1	25
年度末	1	13	1	1	2	1	4	1	24

②　職員の採用

月日	職種	人数	学歴	福祉施設経歴等	備考
4 月 1 日	保育士	2	短大卒	有資格者 2	

③　職員の異動

月日	職種	人数	異動元	異動先	備考
4 月 1 日	児童指導員	1	若草寮	睦の家	
4 月 1 日	保育士	1	睦の家	若草寮	
12 月 14 日	児童指導員	1	若草寮	リボン	産休・育休代替

2　規程改正・制定、協定締結及び届出

（1）規則改正

定款　就業規則　給与規程

（2）規則制定　経理規程

（3）協定締結

３６協定　３月２５日締結４月１日届出

２４協定　４月１日締結

3　職員健康診断、予防接種等

雇入時健診　4 月　2 人

定期健康診断　8 月、9 月、10 月、11 月、12 月、2 月　24 人

インフルエンザ予防接種　、12 月、1 月　4 人

腸内細菌培養検査　１２回　延 60 人

4　消火、避難訓練

各月、年１２回　児童延１１７人、職員１６５人

5　監査等

（1）行政指導監査　（９月３０日、豊岡健康福祉事務所３人、朝来健康福祉事務所３人）

（2）内部監査　　監事監査（５月２１日、監事２人）

（3）消防査察　　南但消防本部（２月９日、２人）

（4）自主点検　　（毎月、建物、設備、遊具、処遇等点検）

（5）第三者評価受審(福祉市民ネット・川西３人　１１月２５日・２６日)

6　会議

（1）　施設が開催した内部の主要会議

①　職員会議

②　職員ミーティング

③　給食会議

④　児童と職員の会議

⑤　処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)

⑥　行事検討会議

⑦　実習生と職員との反省会議

（2）関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、里親支援部会会議、行事実行委員会議、栄養士会議、小中育友会議、集団給食施設会議、こども家庭センターとの会議、子育て支援規準委員会との会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会との会議、処遇関係者・機関との会議、要保護児童対策地域協議会議

7　研修

（1）職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、乳児院・児童養護施設合同研修、防火管理講習、職員交流研修、子育て支援規準委員会研修、性教育研修会、近養協研修会、西日本職員研修、児童虐待防止啓発研修、里親研修、新会計基準研修、会計実務者研修、南但食育推進講演会、社会的養護研修、里親推進研修、防火研修、苦情解決研修

（2）職員内部研修

事業計画・予算研修、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、処遇技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、第三者評価基準研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、里親研修会、保育研修、発達障害と愛着に関する研修

【施設整備等】

1　器具及び備品購入、構築物設置

新会計ソフト・STEP	205,200 円	オカダヤ	10 月
パソコン２台	190,000 円	オカダヤ	3 月
洗濯機	72,800 円	ヤマダ電気	3 月
寝具	143,424 円	しんせい堂	3 月
プリウスフロントガラス修理	108,000 円	アートオート	3 月

2　業務委託

防虫防鼠駆除管理委託	97,200 円	昭和リーブス	年間 12 回
消防用設備等点検整備委託	64,800 円	西垣消防	年間 1 回
電気工作物保安管理業務委託	218,972 円	関西電気保安協会	年間 12 回
一般廃棄物処理委託	161,243 円	丸山環境サービス	毎週 2 回
会計・栄養ソフト保守委託	120,960 円	フレイムエイジ	随時
グリストラップ清掃委託	85,320 円	カントース	随時

【寄付金・寄付物品、助成金】

1　寄付金

　４月～３月　　110,522 円　　７件

2　物品寄付

　４月～３月　　219,850 円　３０件

　　計　　330,372 円　３７件

3　助成金

　全社協、「ジェイ・ストーム助成～社会人一年生スタート応援事業」　240,000 円

【地域との交流・連携】

1　実習生の受入

（1）関係大学・短大　佛教大学、近畿医療福祉大、関西福祉大、神戸女子大、近大豊岡短大、園田学園大短大、関西保育福祉専学、甲子園短大、湊川短大、頌栄短大

（2）実習生数　２４人延３００人

2　里親研修の受入

　養育里親希望夫妻　10 月 24 日，11 月 2 日

3　介護体験の受入　　5 月 19 日～23 日 1 人

4　ボランティアとの交流・連携

（1）山東ライオンズクラブとの交流　　クラブ会員　　１２人　児童・職員３５人

（2）心豊かな５００人委員会との交流　５００人委員会　９人　児童・職員４５人

（3）梁瀬地区自治協議会との交流　　協議会　　３人　児童・職員１９人

（4）甲南大児童福祉研究会との交流　　学生　　延４０人　児童・職員延７０人

5　学校・地域社会を通じての交流と連携

（1）　幼稚園、小学校、中学校、高校及び各学校育友会との交流・連携

（2）　地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携

（3）　子供会、サークル、地域行事への参加・施設行事への招待

（4）　子育て学習センターとの交流・連携

6　関係機関・各種団体との連携

（1）　県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関

（2）　市役所、警察署、消防署、家裁、検察庁、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁

（3）　民生委員、虐待防止ネット、県・近畿・全国の児童養護施設協議会

（4）　子育て支援規準推進委員会・第三者委員、運営適正化委員会

（5）　社会福祉協議会・共同募金会、児童福祉・社会福祉財団

（6）　但馬里親会、・要保護児童対策協議会（朝来市、養父市、豊岡市、香美町）

7　地域の子育て相談事業・支援事業

（1）　一時保護

（2）　ショートステイ事業

（3）　子育て相談事業

（4）　里親・里親会への支援

平成２６年度児童養護施設睦の家事業報告書

1　所在地　　兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2
2　利用定員　　30 人
3　職員定数　　19 人　　現員 24 名
4　事業開始年月日　　平成 25 年 4 月 1 日
5　事業運営基本計画
（1）理念の実現を目指すと共に環境を理解把握し、状況に適応した諸計画を策定、実行する。
（2）施設のユニット化、高機能化を推進する。
（3）理念
①　利用者の意向を尊重し、利用者が尊厳を保ちつつ、健やかに育成されるよう支援する。
②　良質、適切、総合的な福祉サービスを提供する。
③　事業を適正に遂行するため経営基盤を強化し、サービスの質の向上と経営の透明性を確保する。
④　地域の住民及び福祉関係者と相互に協力し、地域福祉を推進する。

6　処遇実績
（1）年間在籍児童数（各月初日在籍児童数）

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児													
年　少　児	6	6	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	90
小　学　生	13	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	154
中　学　生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
高　校　生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
そ　の　他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	28	27	27	30	30	30	30	30	30	30	30	30	352

（2）一時保護・ショートステイ延日数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	28	15	24										67
ショート					3				12		9	12	46

（3）入所・退所児童数

区分＼月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
入所	幼　　児			2										2	3
	小　学　生			1										1	
	中　学　生														
	高　校　生														
退所	幼　　児														4
	小　学　生	1											2	3	
	中　学　生												1	1	
	高　校　生														
	そ　の　他														

（４）日常生活

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平　　日		休　　日		備　　考
起　　床	6:30	起　　床	6:30～ 7:00	おおむね適応している
朝　　食	6:10～ 7:30	朝　　食	6:50～ 8:00	〃
登　　校	6:30～ 8:20	学　　習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼　　食	12:00～14:00	昼　　食	12:00～13:00	〃
下　　校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学　　習	15:30～	学　　習	15:30～	おおむね適応している
入　　浴	16:00～20:30	入　　浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕　　食	17:30～19:10	夕　　食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学習	21:00～24:00	自主学習	21:00～24:00	おおむね適応している

（５）児童集団行事等実績

４月　５日　花見　丹波少年自然の家 児童２０名　職員７名
４月２７日　カブトムシ探検隊　但馬長寿の里　児童５名　職員２名
５月　１日　園庭バーベキュー　睦の家　児童２２名　職員１１名
５月　１日　サッカー観戦招待行事　ノエビアスタジアム神戸　児童６名　職員２名
５月１０日　こいのぼりの集い　明石公園　児童２４名　職員１２名
６月　８日　県養連サッカー大会　神戸レディースＦ．Ｃ　児童３名　職員２名
７月１２日　ミュージカル招待行事　大阪ビジネスパーク　児童３名　職員１名
７月２０日　山東ライオンズ招待行事　山東自然の家　　児童２５名　職員９名
７月２８日　海水浴　竜宮浜　児童１１名　職員５名
７月２９日　海水浴　竹野　　児童　８名　職員４名
８月　４日　海水浴　竹野　　児童　９名　職員３名
８月１４日　お盆外食　氷上・和田山　児童１５名　職員６名
９月２７日　人形劇鑑賞　やまなみホール　児童８名　職員２名
９月２８日　日本プロサッカースクール招待　住友総合Ｇ　児童３名　職員１名
１１月　１日　県職員サッカースクール招待　明石陸上競技場　児童４名　職員１名
１１月　２日　観劇招待　丹波の森公苑　　児童８名　職員３名
１１月１６日　文室歩こう会　高源寺　　児童２４名　職員９名
１１月１７日　木下大サーカス招待　三田アウトレット　児童１３名　職員４名
１１月２４日　焼いも会　睦の家　　児童２９名　職員１０名
１２月　７日　養連行事みんなの文化祭　明石西部市民会館　児童９名　職員６名
１２月　９日　ふれあいお茶会　睦の家　児童　３名　職員３名　地域　３名
１２月２１日　クリスマスコンサート鑑賞　ライブピア市島　児童１１名　職員２名
１２月２３日　クリスマス会　睦の家　児童３０名　職員２０名　地域３名
２月　７日　養連ドッジボール大会　洲本市文化体育館　児童１１名　職員　２名
３月　７日　ふれあいお茶会　睦の家　児童　８名　職員５名　地域　５名
３月　７日　養連マラソン大会　播磨中央公園　児童１８名　職員６名
３月　８日　若草寮合同バーベキュー　睦の家　児童２９名　職員１１名
３月１４日　東条湖おもちゃ王国招待行事　児童８名　職員４名

３月２７日～２８日　春の旅行　福井・石川方面　児童２１名　職員９名

（６）避難訓練実績

各月１回　年１２回

（７）処遇計画の策定と実施

①　自立支援

個別児童について、こども家庭センターの処遇指針、児童、保護者、学校、施設の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。

②　特別指導

２０人の年長児童等について、スポーツや創作活動、芸術等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

③　個別対応

被虐待児や集団処遇に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童について、生活場面・創作活動での１対１の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図ると共に適切な援助・指導のあり方を追究してきました。

④　心理療法

１５人の被虐待児や情緒面での課題があり、こども家庭センターと事前協議を行った児童について、心理療法を行い、情緒の安定、達成感や自信の獲得、愛着関係の再構築等の支援を行いました。

⑤　家庭支援相談

虐待、その他家庭環境上の理由により入所している児童とその家庭を対象に児童及び保護者への相談・指導等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をしてきました。また、季節里親等の家庭生活体験活動への取り組みを進めました。

⑥　児童集団行事

児童の意見や要望を取り入れ、年間行事計画を立て、児童の自主的・主体的な活動の機会を増やしました。

⑦　施設機能強化推進事業計画を立て、自立促進、地域交流、家庭生活体験、防災対策を推進し、処遇の充実向上と施設機能強化に努めました。

７　処遇結果の概要

（１）幼児は、概ね日常生活に適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。軽度発達障害の疑いの児童については、専門機関と連携し支援体制を整えました。

（２）小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができました。学校での問題行動については、施設、学校との十分な連携のもと対応しました。

（３）中学生は全般に元気に生活することができました。中学校卒業者１名の進路につきましては家庭復帰先での進学を希望し、実現することができました。中１児童３名の学習支援課題となっています。

（４）高校生はそれぞれに目標を持って高校生活に臨むことができました。期間延長の専門学校生も無事に進級し、さらにもう１年の延長が認められました。

（５）高校進学児童１人（村野工業高等学校）

（７）問題行動があった児童３人

（８）特別な支援の必要な児童９人

知的障害６、情緒・軽度発達障害３

（９）通院児童３０人、延２２２人
(10) 予防接種　インフルエンザ２９名　日本脳炎５名　麻疹風疹３名　ヒブ１人　肺球１人
(11)　健康診断　春２７名　秋３０名

【運営管理】

１　人事・労務

（１）職種別職員数

職　種	施設長	指導員保育士	心　理	事務	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	１１	1	1	2	2	4	1	２３
年度末	1	１１	1	1	2	2	4	1	２３

（２）退職　なし

２　規程改正・制定・協定締結及び届出

（１）規則改正

定款　就業規則　給与規程

（２）規則制定　経理規程

（３）協定締結

３６協定（3月２５日締結４月１日届出）

２４協定（４月１日締結）

３　会議

（１）　施設が開催した内部の主要会議

①　職員会議

②　職員ミーティング

③　給食会議

④　児童と職員の会議

⑤　処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)

⑥　実習生と職員との反省会議

（２）関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事実行委員会議、栄養士会議、小中育友会議、集団給食施設会議、こども家庭センターとの会議、子育て支援規準委員会との会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会との会議、処遇関係者・機関との会議、県児養連理事会、要保護児童対策地域協議会議近養常任委員会

４　職員健康診断　和田山健康倶楽部　入社時検診　４月　２名

定期健診　　１０月～３月　２２名

インフルエンザ予防接種　１７人

腸内細菌培養検査　１７回　延べ６９人

５　監査等

（１）行政指導監査

チエックリストによる監査

（２）消防査察

消防査察　平成２６年度はなし

（３）自主点検

建物遊具点検（毎月）

６　研修

（１）職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、乳児院・児童養護施設合同研修、防火管理講習、職員交流研修、近養協研修会、西日本職員研修、職員交換研修、児童虐待防止啓発研修、里親研修会、情報研修会、会計実務者研修、社会的養護研修

（３）職員内部研修

事業計画・予算研修、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、処遇技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、里親研修会、保育研修、発達障害研修

【施設整備等】

１　器具及び備品の取得

コピー複合機	1,023,840 円	オカダヤ	4 月
テント一式	153,637 円	㈱プロクルー	10 月

２　業務委託

防虫防鼠駆除管理委託	97,200 円	昭和駆除	年間 12 回実施
消防用設備等点検整備委託	129,600 円	西垣消防	年間 2 回実施
会計・栄養ソフト保守委託	120,960 円	コンピューターシステム研究所	年間随時
電気監視業務委託	226,404 円	関西電気保安協会	毎日
支障木枝打ち処分	43,200 円	丹波市森林組合	１回

【寄付金･寄付物品受領】

１０万円以上分　なし

寄付件数　４９件　336,300 円

【地域との交流・連携】

１　実習生・ボランテイアとの交流と連携

・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携

※実習受け入れ校

近大豊岡短大　園田学園短大　湊川短大　兵庫大　大阪こども学園　１７名　１７０日

・ボランティアとの交流・連携

７月　５日　青垣町民生委員　花植え　　民生委員１４名　児童１５名

７月２０日　山東ライオンズクラブ交流行事　会員　児童２５名

２　学校・地域社会を通じての交流と連携

・こども園・小学校、中学校、高校及び各学校の育友会との交流・連携
・地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携
・サークル、地域行事への参加・施設行事への招待
・民生児童委員施設訪問

３　関係機関・各種団体との連携

・県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
・市役所、警察署、消防署、家裁、検察庁、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
・民生委員・主任児童委員、・県児童養護連絡協議会・近畿児童養護施設協議会
・全国児童養護施設協議会・子育て支援規準推進委員会・第三者委員　・社会福祉協議会
・共同募金会・但馬里親会・要保護児童対策協議会（丹波市、篠山市）

４　地域の子育て相談事業・支援事業

・一時保護
・ショートステイ事業
・子育て相談事業

平成２６年度児童家庭支援センターリボン事業報告書

〔事業目的〕

地域の児童福祉に関する問題につき児童に関する家庭からの相談のうち専門的な知識及び技術を要するものに必要な助言を行うとともに市町村の求めに応じ技術的助言その他必要な援助を行うほか保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行いあわせてこども家庭センター、児童福祉施設等と連絡調整等を総合的に行い地域の児童、家庭の福祉向上を図る。

〔事業実績〕

1　相談に応ずる事業

（1）相談対応延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	36	39	33	51	49	26	28	26	19	17	31	14	369
継続相談人数	0	12	19	33	23	20	30	28	26	20	42	16	269
月別相談人数	36	51	52	84	72	46	58	54	45	37	73	30	638

（2）実施内容

①　相談者に対して、親子のコミュニケーションや、望ましいしつけに関して、具体的な方法を伝える等の支援を行った。

②　セカンドステップのプログラムを用い、対人関係を上手に結べない、自分の感情を上手に表現できない児童の社会的な言動を促進させる関わりを行った。

③　コモンセンスペアレンティング・トレーニングを用い、親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを身につけられるよう促し、虐待の予防を図った。

④　相談に応じる中で、子どもの特性に応じた関わり方を知るために発達検査・知能検査を行い、保護者や担当者、担任教師などに関わり方を助言した。

⑤　児童養護施設退所児童からの相談を受け、自立の促進を図る助言を行った。

2　市町村の求めに応ずる事業

（1）朝来市５歳児発達相談事業へ心理士を派遣した。

朝来市５歳児発達相談事業

	1月	2月	3月	合計
実施回数	1	3	4	8
対象者数	9	23	34	66

（2）篠山市、丹波市、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、多可町の要保護児童対策地域協議会へ参加し、地域の現状を把握すると共に各々の役割を認識した。また、連携ケースの情報を交換し、役割分担と連携の必要性を認識した。

（3）朝来市内の子育て学習センター4ヶ所（朝来、生野、山東、和田山）に毎月訪問し、保護者の子育て・発達相談を受け、各センター担当者とケースを共有した。

	訪問回数	人数
朝来子育て学習センター	7	134
生野子育て学習センター	9	153
山東子育て学習センター	5	108
和田山子育て学習センター	8	207
計	29	602

（４）研修会等の実施回数、対象者数

①　朝来市子育て学習センターＣＳＰ研修会

	6 月	7 月	11 月	合計
実施回数	3	1	4	8
対象者数	50	12	34	96

②　丹波市春日町民生児童委員視察研修　　回数 1、29 人

③　丹波市氷上町民生委員児童委員視察研修　　回数 1、14 人

④　竹野町民生委員児童委員視察研修　　回数 1、11 人

⑤　香美町要保護児童対策地域協議会・民生委員協議会視察研修　回数 1、8 名

⑥　朝来市民生委員児童母子部会視察研修　　回数 1、38 人

⑦　朝来市民生委員主任児童委員研修会　回数 1、7 人

⑧　養父市教育委員会視察　　回数 1、8 人

⑨　但東町主任児童委員視察研修　　回数 1、7 名

＜実施内容＞

①　コモンセンスペアレンティングトレーニングを用い親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを習得することにより、虐待を予防できることについて、プロジェクターを用いた説明や講話を行った。

②　グループワーク・集団指導援助について、話し合った。

③　各地域の現状の情報交換を行うと共に、当センターの役割と機能を説明した。

３　子ども家庭センターからの指導委託による指導

（１）指導委託人数 2 人

①　豊岡こども家庭センターの委託　1 件

②　中央こども家庭センターの委託　施設から家庭復帰ケース１件

（２）指導委託対応延べ件数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
5	5	14	18	17	12	9	8	2	2	3	10	105

（３）実施内容

①　定期的な訪問、通所、電話・メール相談、手紙・はがきによる助言、指導を行った。

②　こども家庭センターへ毎月指導状況報告書により、状況を報告した。

③　こども家庭センターから助言、指導を受けながらケースの支援を行った。

４　里親支援

（１）養育里親認定前研修　回数 1、2 人

（２）里親サロン　回数 2、57 人

（３）里親からの相談に応じ、里親の悩みや不安に対する助言、養育に関する助言などの支援を行った。

（４）但馬里親会総会及び里親関係機関意見交換会に出席し里親会との交流と連携を図った。

（５）里親のニーズに応じてレスパイトケアの委託先の調整を行った。

（６）ホームページ、会報をはじめ、子育てひろばなどで里親制度の広報を行った。

5　関係機関との連携、連絡調整

電話、メール、来所、訪問等の回数 452 回、うち夜間対応１回

（1）主な内容

①　川西こども家庭センター丹波分室との連絡会議を行い、リボンの事業報告を行った。

②　豊岡こども家庭センターとの連絡会議を行い、リボンの事業報告を行った。

③　豊岡こども家庭センターとのケース情報交換会をもち、豊岡こども家庭センターからの紹介ケースについて情報を共有し方針の確認等を行った。

④　一時保護、ショートステイの受け入れ窓口としての役割を担った。

⑤　民生児童委員協議会との連絡会議において当センターの役割や機能を説明すると共に、意見交換、情報交換を行った。

⑥　各市健康課・福祉課、教育委員会（学校・保育園）と連携ケースに関る情報交換を行い、各々の役割を認識した。

⑦　里親関係機関意見交換会に出席し、里親支援専門員と連携を図った。

6　地域支援事業・子育て支援事業

事業名	実施回数	人数	内容
まちの子育てひろば　リボン・ほっとサロン	6	58	
まちの子育てひろば　新温泉ゆめっこランド	1	4	７月子育て相談会
まちの子育てひろばやなせさくらんぼるーむ	1	17	７月
まちの子育てひろば　チャイルドハウス	1	40	８月子育て相談会
まちの子育てひろば大屋幼児センター子育て支援どんぐり	1	8	８月子育て相談会
県児家センター協議会オレンジリボンキャンペーン	1	296	11 月児童虐待防止啓発イベント
計	11	423	

7　運営管理

（1）職員数

	センター長	副センター長	相談支援員	心理士	計
年度始	1	1	2	1	5
年度末	1	1	3	1	6

（2）職員人事

区分	年月日	職種	人数	事由
休業	26 年 12 月 2 日	常勤相談支援員	1	産休、育休
異動	26 年 12 月 14 日	常勤相談支援員	1	産休、育休代替

（3）健康診断等

①　定期健康診断　　12 月 10 日　2 人